

# うだぢから

「うだぢから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。  
 問 政策推進課 ☎82・3910/IP☎88・9094

## ① みんなで飾った、大きなクリスマスツリー

伊那佐地区まち協

12月23日、旧伊那佐幼稚園で当まち協主催の「家族で楽しむ冬まつりクリスマス」を行い、子どもたちと家族の方が50人ほど参加しました。

お正月が近いので、餅米を蒸して石臼でお餅つきをしました。子ども用には小さな杵も用意して順番に体験をしました。杵が横向きになり石臼の端に当たると満足でしたが、お餅をつき終わると満足



▲私もお餅つきできたよ～!

そうな顔になっていました。つきたてのお餅にきな粉をつけて「すぐくおいしいよ」と嬉しそうにほおばっていました。焼き餅を入れた甘いぜんざいも振る舞われ、みんなフーフーしながら笑顔で食べていました。またマシユマ口焼きでは、子どもたちが「少し焦げ目ができるくらいがおいしいよー」といいながら、長い竹串にマシユマロを刺して炭火で焼いていました。



▲みんなで飾ったもみの木ツリー

## ② 美しい内牧地域を目指し、パトロールに出発

内牧地域まち協

令和5年度より、基本方針の「元氣な内牧地域」に「美しい内牧地域」も加えて活動をしています。昨年7月より内牧地区連合自治会と一緒に地域内の環境パトロールを始めました。

今年度、第4回目のパトロールが1月21日、たかぎふるさと館にのぼりとステッカーをつけた軽トラが集まり、不法投棄禁止の啓発を兼ねて対象地域に向かいゴミの回収を行いました。

第1回目の時から、美しい景色が広がるきれいな場所と書いてい



▲環境パトロール隊の軽トラ



▲回収したゴミの一部

での茂みの中などに多く、市環境対策課とも相談をしている状態です。

3月には第5回目のパトロールを実施予定ですが、軽トラックにゴミがいっぱいにならないことを願っています。そして地域の皆さんとともに元気で美しい内牧地域を目指したいと思います。

## ③ うたの初詣巡り

菟田野まち協

12月31日午後11時から「宇太水分神社・惣社水分神社・松井天神



▲惣社水分神社

社・桜実神社」の四神社で、第七回「うたの初詣巡り」を開催しました。あいにく、年越し前に雨が降り

出し、参拝者は例年よりも少なめとなりました。恒例のライトアップは、各神社とも趣向を凝らした演出で参拝者をお迎え、氏子の皆さんによる甘酒、生姜湯、昆布茶など、温かいお飲み物のおもてなしで、いつもは静かな境内も、新年の挨拶や笑い声が聞こえていました。この催しでは、参拝された方にお飲み物のおもてなしの他に、奈良県産の杉で作ったお箸の記念品もお渡ししました。各神社では、氏子の皆さんが、数日前から門松を立て、境内の掃除、お焚火、ライトアップの準備をし



▲桜実神社

ていただき、「うたの初詣巡り」で新年を気持ち良く迎えることができましたことと思います。今年も当まち協の催しで、たくさんの方が笑顔になりますように!



## カワラヨモギ

茎が伸びてくると葉の裂片が糸状に細くなり、毛もなくなりツヤのある緑色に変わります。冬と夏の状態が極端に違うので、別の植物かと思うほどです。全草を採集して、乾燥したもののが茵陳蒿ですが、一般には頭花だけを採集して、茵陳蒿として使われています。冬から早春の柔らかそうな葉を集めたものは、綿茵陳として中国でよく使われます。この茵陳蒿または綿茵陳

を、一日十〜二十グラム煎じて飲めば消炎、利尿、利胆、解熱、去痰作用があり、肝硬変をはじめ肝臓疾患に使われ、黄疸や肝炎、胆嚢炎、胆石症、膀胱炎、尿毒症、高血圧、胃けいれん、じんましんなどにも使われます。特に皮膚がかゆくてつらい人は、茵陳蒿か綿茵陳百〜二百グラムを多量の水で炊き出し、生薬ごと風呂に入れて入浴すると皮膚のかゆみがなくなります。



▲薬草道通(やくそうしゅうしょうりょう) 毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。

※当市で「薬草活用講演会」をしていた村光太郎先生の連載より一部抜粋  
 問 商工業課 ☎82・5874 / IP☎88・9075